

菊陵中だより



北九州市立菊陵中学校
令和6年11月26日発行
No. 6

校長 野田 篤

【学校教育目標】

自他を大切に、気付き、考え、行動することのできる、徳・知・体の調和のとれた生徒の育成

努力と笑顔でつくりあげた文化発表会！！

今月3日（日）、菊陵中学校 文化発表会が開催されました。スローガンである「日進月歩～努力と笑顔でつくる文化発表会」のもと、いずれの学年も素晴らしい発表や歌声を披露してくれました。本年度は休日開催となり、例年以上に多くの保護者の方にお越しいただきました。また、当日は、本年4月に開校し、学び舎を共にしているひまわり中学校の生徒及び教職員の皆さんも観覧に来てくださいました。今後も、両校生徒の交流を深めることができる企画を考えていきたいと思っています。

以下は、文化発表会の各演目に対する学校長講評です。



◆◆◆学校長講評◆◆◆

【生徒会執行部】オープニング・エンディング

自分たちの手で文化発表会を創り上げ、成功に導こうと、毎日、放課後遅くまで一生懸命に練習・準備を行いました。スローガンにある「努力と笑顔」をテーマとするオリジナル脚本劇は、観客を笑顔にし、会場の雰囲気盛り上げてくれました。

【2年生】SDGs 発表・合唱「心の瞳」

夏休み前から取り組んできた防災・減災学習で学んだことを、寸劇と合わせて発表しました。異学年意見交流会を通して広げたり深めたりした思いや考えも含め、よくまとめられた発表でした。合唱も、1年時よりレベルアップした素敵な歌声でした。

【1年生】SDGs 発表・合唱「Believe」

絶滅危惧種についての発表では、代表生徒3人の堂々とした、また、「伝えたい」気持ちがあふれる素晴らしい発表に頼もしさを感じました。合唱では、生徒一人一人が、初々しくも一生懸命に歌う姿を見ることができました。

【合唱部】合唱「やってみよう」「Mela!」 「旅立ちの時」

部員数は少ないですが、文化発表会を盛り上げようと一生懸命頑張りました。手話をしながら歌い上げた「旅立ちの時」は、観客の心にきれいな歌声と素敵な時間を届けてくれました。

【3年生】SDGs 発表・合唱「正解」

中学校生活最後の文化発表会で、SDGs 発表、合唱ともに、最高のパフォーマンスを披露してくれました。合唱曲「正解」の歌詞にある一つ一つの言葉に、様々な想いを込めながら真剣に歌う姿に感動しました。下級生の手本となる発表でした。

【全校生徒】合唱「大切なもの」

全校生徒の心と歌声が一つとなって体育館に響き渡りました。年間を通じて「縦のつながりプロジェクト」に取り組む中で高めてきた、学年を超えた団結力を発揮することができたと思います。今後も、菊陵中の伝統をみんなで繋いでほしいと思います。

保護者・地域の皆様へ

お 礼

文化発表会当日には、多くの皆様にご来校いただき、大きな拍手と温かいまなざしを送っていただきました。おかげさまで、生徒一人一人の心に残る最高の文化発表会となりました。教職員一同、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、PTA役員・委員の皆様には、1学期の体育大会に引き続き、正門警備等でご協力いただき、重ねてお礼申し上げます。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

国際理解教育講演会を通じて学んだことは・・・

前述の文化発表会に先立ち、同日、福岡県国際交流協会からシリア出身のアルハサンムハンマド アナスさんをお招きしての講演会を行いました。この講演会は、帰国・外国人児童生徒教育センター校である本校において、毎年、様々な国や地域の方にお越しいただき、外国の文化に触れることで、その知見を深めたり広げたりすることを目的としています。



講演では、シリアの文化や生活について、また、近年続いている内戦のことについても詳しくお話いただきました。これまでの生徒の日常には、あまりつながりを感じるもののなかった遠い国の話であったかもしれませんが、アナスさんの訴えかけるようなお話に、多くの生徒が耳を傾け、真剣なまなざしで聞いている姿が見られました。まずは相手のことをよく「知ること」こそが、国際理解、そして世界平和の第一歩となると考えます。これは、身近な他者との良好な関係づくりにも通じるものかもしれません。今後も、様々な教育活動を通して、生徒の思いやりの心を育てていければと思います。

校則の見直しについて

時代の変化に伴い、社会からの要請や価値観が変化したことなどから、本市では令和3年度以降、各中学校において、校則の見直しが進められており、本校でも、生徒総会での生徒意見をもとに、生徒会代表や教職員による協議及び保護者や地域代表者等の意見等も踏まえ、以下のような見直しを行ってきました。

- 【令和3年度】標準服における男女指定廃止
- 【令和4年度】着脱式名札採用（標準服への氏名縫付廃止）、防寒着の着脱場所変更
- 【令和5年度】標準服の移行期間等廃止、白長袖シャツ（既製品：校章なし）使用許可
頭髪規定変更（自然な髪形：ツーブロック許可）
靴下規定変更（華美でないもの）、第3のバッグ使用許可

過去には、細かい規定を定め、規則を守らせることによって学校の安定を目指すことで、学校の秩序を維持し、生徒の健全な育成を図ってきましたが、これからの校則には以下のような視点が求められています。

校則を通して、**自立した規範意識**の育成を目指す。
学校の**自治的活動**を育む。
学校と生徒・保護者との**信頼関係**を高める。

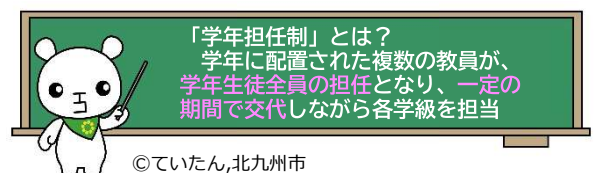
これらを踏まえ、現在、令和6年度の校則の見直しを進めておりますが、以下の点について、先行して見直しを行うこととしましたのでお知らせします。

- 【令和6年度】登下校時に着用する防寒着の学校指定外許可（11/5～試行実施開始）
⇒ 生徒が登下校時に着用する防寒着について、従来より許可されていた学校指定品以外のもの（華美でないもの）の着用を許可します。

「自分たちの学校のきまりは自分たちで作り、自分たちで守る。」引き続き、生徒自身がよりよい学校生活を送るため、また、菊陵中のよき伝統を継承していくために自走できる学校づくりについて、生徒とともに考えていきます。

「学年担任制」の試行実施を行っています！！

現在、本校では、学校教育目標の達成と持続可能な学校運営に向けた取組の一つとして、以下の4点を目的に、1，2年生において「学年担任制」の試行実施を行っています。



- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ◎ 生徒主体の学級づくりの推進 | ⇒ 教師（担任）に依存しない |
| ◎ 多面的・多角的な生徒理解及び保護者連携の推進 | ⇒ 生徒・保護者に向けるアンテナを増やす |
| ◎ OJTによる人材育成の推進 | ⇒ 先輩・後輩・同僚に学ぶ機会を創出する |
| ◎ 教員の働き方改革の推進 | ⇒ 業務負担（感）の軽減を図る |

今後、試行実施に関するアンケート調査（生徒・保護者・教職員対象）等をもとに分析・検証を行いながら、令和7年度からの本格実施に向け、メリットの最大化とデメリットの解消を目指していきます。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。